

普通厚生共済
チヨコ・

終身共済

終身共済 + 医療共済

加入年齢 15歳~75歳
60・65・70・80歳払込終了



万一に
生涯

備える。

病気・ケガに

生涯

備える。



がんを手厚く保障。



通院に備える。



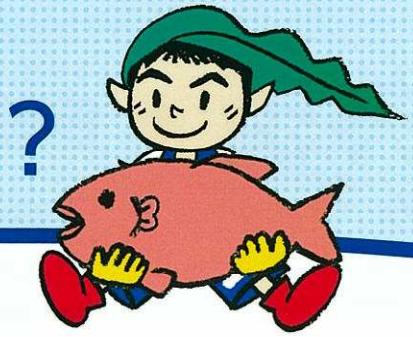
海難・交通事故を
上乗せ保障。



生活習慣病や女性疾病を
手厚く保障。

JF共済

備えの必要性について、考えてみませんか？



平均寿命が伸びています。

20年前に比べると、男女とも平均寿命が3歳以上も伸びています。

心配事
老後の準備はできているだろうか…?

日本人の平均寿命

平成8年 平成28年

男性 77.01歳 ▶ 80.98歳

女性 83.59歳 ▶ 87.14歳

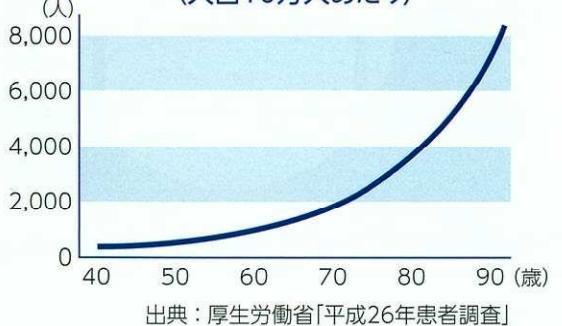
出典：厚生労働省「平成28年簡易生命表」

高齢になるほど入院する人が増えます。

年を重ねるほど、ケガや病気で入院するリスクは増えるので、「今は健康には自信がある」方も備えが必要です。

心配事
医療保障を一生涯受けられないだろうか…?

年齢階級別入院受療率 (人口10万人あたり)



生活習慣病の患者数。

食生活の乱れ、運動不足、喫煙等によって引き起こされるといわれる生活習慣病。死因の上位を占める生活習慣病を患っている方が、全国にたくさんいます。

主な生活習慣病による総患者数

がん	162.6万人
糖尿病	316.6万人
脳血管疾患	117.9万人
心疾患 (高血圧性のものをぞく)	172.9万人
高血圧性疾患	1,010.8万人

心配事
生活習慣病の備えが手薄ではないだろうか…?



いわゆる脳卒中は、入院が長引く場合があります。

平均入院日数

くも膜下出血… 119.6日
脳内出血 …… 127.4日
脳梗塞 ……… 90.6日

出典：厚生労働省「平成26年患者調査」

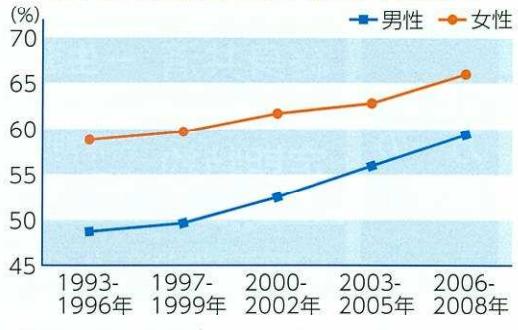
日本人の約2人に1人がかかる病気、がん。 がん診断後の生存率が上がっています。

*公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計'17」

医療技術の進歩等により、がんと診断されてからの5年生存率が増えています。
治療に専念するために、
入院・手術・放射線治療等の備えが必要です。

心配事
お金の心配をせずがん治療に専念したい…。

がんと診断された人の5年生存率



国立がん研究センター 地域がん登録による生存率データ(1993～2008)をもとに作成

先進医療は自己負担額が高額になるケースがあります。

高度な医療技術を用いた療養として注目される先進医療ですが、その技術料は公的医療保険制度の対象外であり、**全額自己負担**となります。

心配事
先進医療を受ける資金を準備できるだろうか…?

高額な先進医療の例

先進医療 技術名	適応症	1件あたりの 技術料
重粒子線治療	がんなど	約315万円
陽子線治療	がんなど	約277万円
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	白内障	約58万円

厚生労働省 先進医療実績報告書(平成28年7月1日～平成29年6月30日)をもとに作成

その**心配事**に、JF共済がお応えします!



万一の場合や
病気・ケガに
一生涯備える。

終身共済 + 医療共済

加入年齢 15歳～75歳 60・65・70・80歳払込終了

ライフプランに合わせて自在に設計できます。

例えば…

現役時代の万一の保障を重視しながら掛金は抑えたい。

万一の保障を確保しつつ次の世代へ資産を残したい。

万一の保障より医療の備えを重視したい。

定期特約 980万円
終身共済 20万円

終身共済 1,000万円

女性疾病入院特約 等

医療共済
終身共済 100万円

払込終了 80歳

払込終了